

(様式第1号)

## 自己評価及び外部評価結果票

### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4150180042		
法人名	医療法人 長晴会		
事業所名	グループホーム きりん		
所在地	佐賀県佐賀市金立町大字薬師丸1274-1		
自己評価作成日	平成25年2月20日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.espa-shiencenter.org/preflist.html">http://www.espa-shiencenter.org/preflist.html</a>
-------------	---

### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	社会福祉法人 佐賀県社会福祉協議会		
所在地	佐賀県佐賀市鬼丸町7番18号		
訪問調査日	平成25年3月19日	外部評価確定日	平成25年4月8日

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<p>・24時間対応で、主治医、看護師との連携をとりながら入居者の健康に留意し認知症の進行に伴う周辺症状についても専門医に相談しながら対応している。</p> <p>・併設介護老人保健施設の専門職が入居者のリハビリの評価を行っている。</p> <p>・入居者・家族よりリハビリの希望があった場合、計画を作成しリハビリを強化したほうがよいと判断した場合実施している。</p> <p>・2ヶ月に1回運営推進会議を開催し、会議での意見をサービスに生かすように努力している。</p>
--

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

<p>事業所は佐賀市東部の田園地帯に位置し、周りには昔ながらの住宅が点在している。敷地内には、同一法人の老人保健施設や通所介護施設等が隣接している。また、近くには法人母体の医療機関等もあり、それぞれの機能を活かした支援体制がある。事業所内は明るく、気温や光・匂いへの配慮もなされている。玄関には地域の花弁栽培者から届けられた花等も飾られ、利用者や訪問者を和ませている。職員は、利用者一人ひとりの介護計画に添った、その人らしい暮らしを支援しており、利用者の笑顔が喜びとなっている。職員間の意思の疎通も良く、お互いに協力しながら利用者の支援にあたっている。</p>
--

## 自己評価および外部評価結果

自己	外部	項目	外部評価 (評価機関記入欄)			
			自己評価(ユニット名/A)	自己評価(ユニット名/B)	自己評価(ユニット名/C)	実施状況 次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>						
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念の確認を日々行いながら、確かめ合い実践している。	理念の確認を日々行いながら、確かめ合い実践している。	理念の確認を日々行いながら、確かめ合い実践している。	地域密着型サービスの役割を踏まえた理念を作成している。理念はタイムカードの傍に明示され、出勤時に各自で確認を行うようにしている。職員会議等で話すこともある。
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	地域の行事などには、時間の許す限り参加をし、近所の公園など利用し近隣の方との交流も行えるように努めている。	地域の行事などには、時間の許す限り参加をし、近所の公園など利用し近隣の方との交流も行えるように努めている。	地域の行事などには、時間の許す限り参加をし、近所の公園など利用し近隣の方との交流も行えるように努めている。	地域住民とは散歩や外出時等に挨拶を交わしている。毎月、町内の傾聴ボランティアの訪問や、花卉栽培者からの花の差し入れがなされている。隣接する老健施設での幼稚園生や中学生、地域ボランティアによる催し等には利用者も一緒に参加し、交流している。
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	法人、事業所での行事開催時には、地域の方に参加の呼びかけをし、認知症の方の理解や対応の仕方を伝える努力をしている。	法人、事業所での行事開催時には、地域の方に参加の呼びかけをし、認知症の方の理解や対応の仕方を伝える努力をしている。	法人、事業所での行事開催時には、地域の方に参加の呼びかけをし、認知症の方の理解や対応の仕方を伝える努力をしている。	
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2カ月毎に会議を開催し、行事への取り組み、状況報告を行い、参加者の方からも意見を頂きサービスの向上に活かすようにしている。	2カ月毎に会議を開催し、行事への取り組み、状況報告を行い、参加者の方からも意見を頂きサービスの向上に活かすようにしている。	2カ月毎に会議を開催し、行事への取り組み、状況報告を行い、参加者の方からも意見を頂きサービスの向上に活かすようにしている。	運営推進会議は2ヶ月に1回、利用者、家族、自治会長、民生委員、行政職員の参加を得て開催されている。会議では事業所の状況、行事等の報告、質疑応答等がなされ、サービスの質の向上に活かしている。
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	情報交換を通じて、困難事例についての報告、相談を行うようにしている。	情報交換を通じて、困難事例についての報告、相談を行うようにしている。	情報交換を通じて、困難事例についての報告、相談を行うようにしている。	管理者は行政の担当者と気兼ねなく情報交換や相談等を行い、協働関係を構築している。
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	危険認識が著しく困難な方でも、自由に過ごしてもらうように努めている。	危険認識が著しく困難な方でも、自由に過ごしてもらうように努めている。	危険認識が著しく困難な方でも、自由に過ごしてもらうように努めている。	法人内に身体拘束禁止委員会が設置されている。職員は身体拘束の禁止について理解し、拘束のない支援に取り組んでいる。昼間、玄関は施錠されておらず、気候の良い時季にはドアも開けられている。隣接する併設施設職員の協力も得ながら、利用者の外出ニーズを支援している。

自己	外部	項目	外部評価 (評価機関記入欄)				
			自己評価(ユニット名/A)	自己評価(ユニット名/B)	自己評価(ユニット名/C)	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	法人内・外の勉強会に参加し職員の意識づけと委員会の活動の情報の共有かして防止に努めている。	法人内・外の勉強会に参加し職員の意識づけと委員会の活動の情報の共有かして防止に努めている。	法人内・外の勉強会に参加し職員の意識づけと委員会の活動の情報の共有かして防止に努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	研修などで制度の理解を深め活用できるように努めている。	研修などで制度の理解を深め活用できるように努めている。	研修などで制度の理解を深め活用できるように努めている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時の説明をするが、疑問点がある時にはいつでも尋ねてもらえるようにし、解約時にもお互いに納得できるように努めている。	契約時の説明をするが、疑問点がある時にはいつでも尋ねてもらえるようにし、解約時にもお互いに納得できるように努めている。	契約時の説明をするが、疑問点がある時にはいつでも尋ねてもらえるようにし、解約時にもお互いに納得できるように努めている。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	意見・苦情が言えるような環境作り、つとめ、職員からの話かけを積極的に行うようにしている。	意見・苦情が言えるような環境作り、つとめ、職員からの話かけを積極的に行うようにしている。	意見・苦情が言えるような環境作り、つとめ、職員からの話かけを積極的に行うようにしている。	家族の面会時や行事参加の折等に声をかけ、意見や要望等を聴く様に努めている。また、意見箱も設置している。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	日頃より、短時間でも話ができる心がけ意見・提案を聞くようにしている。	日頃より、短時間でも話ができる心がけ意見・提案を聞くようにしている。	日頃より、短時間でも話ができる心がけ意見・提案を聞くようにしている。	管理者は、毎月の職員会議や業務の中で職員の意見や提案を聞いたり、アンケート調査を行って職員の意向等を把握し、運営に反映させるよう努めている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	お互いが問題点に柔軟に取り組み、対応できる場を持ちステップアップできるような環境作りを努めている。	お互いが問題点に柔軟に取り組み、対応できる場を持ちステップアップできるような環境作りを努めている。	お互いが問題点に柔軟に取り組み、対応できる場を持ちステップアップできるような環境作りを努めている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内・外の勉強会への参加の確保や職員のレベルにあった研修の参加をうながしている。	法人内・外の勉強会への参加の確保や職員のレベルにあった研修の参加をうながしている。	法人内・外の勉強会への参加の確保や職員のレベルにあった研修の参加をうながしている。		

自己	外部	項目	外部評価 (評価機関記入欄)				
			自己評価(ユニット名/A)	自己評価(ユニット名/B)	自己評価(ユニット名/C)	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	研修会参加を行い、積極的な情報交換、コミュニケーションをとるように努めている。	研修会参加を行い、積極的な情報交換、コミュニケーションをとるように努めている。	研修会参加を行い、積極的な情報交換、コミュニケーションをとるように努めている。		
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>							
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	随時聞き取りを行い、要望を受け止め、安心・信頼を保てる関係作りに努めている。	随時聞き取りを行い、要望を受け止め、安心・信頼を保てる関係作りに努めている。	随時聞き取りを行い、要望を受け止め、安心・信頼を保てる関係作りに努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	本人・家族が不安に思っていること、困っている事を聞きとめながら信頼関係を築いている。	本人・家族が不安に思っていること、困っている事を聞きとめながら信頼関係を築いている。	本人・家族が不安に思っていること、困っている事を聞きとめながら信頼関係を築いている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	他のサービスの必要性も検討しながら、本人・家族と話し合いながら対応している。	他のサービスの必要性も検討しながら、本人・家族と話し合いながら対応している。	他のサービスの必要性も検討しながら、本人・家族と話し合いながら対応している。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	出来る事、したいことを観察し本人にストレスを感じさせないよう一緒に生活しているという環境づくりを努力している。	出来る事、したいことを観察し本人にストレスを感じさせないよう一緒に生活しているという環境づくりを努力している。	出来る事、したいことを観察し本人にストレスを感じさせないよう一緒に生活しているという環境づくりを努力している。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会にこられた時には現状説明を行い、ともに考えていけるような関係作りに努めている。	面会にこられた時には現状説明を行い、ともに考えていけるような関係作りに努めている。	面会にこられた時には現状説明を行い、ともに考えていけるような関係作りに努めている。		

自己	外部	項目	自己評価(ユニット名/A)	自己評価(ユニット名/B)	自己評価(ユニット名/C)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	馴染みの人・場所を大切にし、触れ合ったり、出かけたりできるように支援している。	馴染みの人・場所を大切にし、触れ合ったり、出かけたりできるように支援している。	馴染みの人・場所を大切にし、触れ合ったり、出かけたりできるように支援している。	職員は利用者の馴染みの人や場所等を把握しており、馴染みの場所へのドライブや併設施設を利用される知人との交流、昔馴染みの美容師による訪問美容等を支援している。また、はがきや電話による交流も支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	共同生活のなかで、役割を持ち、仲間作りができるように職員が間に入り寂しい思いをさせないようにしている。	共同生活のなかで、役割を持ち、仲間作りができるように職員が間に入り寂しい思いをさせないようにしている。	共同生活のなかで、役割を持ち、仲間作りができるように職員が間に入り寂しい思いをさせないようにしている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	入院や他事業へ移られ契約解除になっても、必要な情報は可能な限り交換をし本人・家族の支援ができるようにしている。	入院や他事業へ移られ契約解除になっても、必要な情報は可能な限り交換をし本人・家族の支援ができるようにしている。	入院や他事業へ移られ契約解除になっても、必要な情報は可能な限り交換をし本人・家族の支援ができるようにしている。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>							
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日々の生活の中で本人の意向や要望を聞き、感じ取りプランに反映するようにしている。	日々の生活の中で本人の意向や要望を聞き、感じ取りプランに反映するようにしている。	日々の生活の中で本人の意向や要望を聞き、感じ取りプランに反映するようにしている。	日々の会話や表情・反応等から利用者の希望や思いを把握している。意思の疎通が困難な場合には、家族と相談しながら本人本位に検討している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人と話をして得た情報や家族、他事業所からの情報を把握し、サービスの向上に努めている。	本人と話をして得た情報や家族、他事業所からの情報を把握し、サービスの向上に努めている。	本人と話をして得た情報や家族、他事業所からの情報を把握し、サービスの向上に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	職員間の情報交換をこまめに行い、現状把握できるようつとめている。	職員間の情報交換をこまめに行い、現状把握できるようつとめている。	職員間の情報交換をこまめに行い、現状把握できるようつとめている。		

自己	外部	項目	自己評価(ユニット名/A)			外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	プラン作成時には関係者からの情報を収集し、本人の現状に即したプランとなるよう努めている。	プラン作成時には関係者からの情報を収集し、本人の現状に即したプランとなるよう努めている。	プラン作成時には関係者からの情報を収集し、本人の現状に即したプランとなるよう努めているが。	本人や家族の希望や意向等を確認し関係者と話し合い、本人本位の介護計画を作成している。3ヶ月毎に評価と見直しを行っている。状態に変化が生じた場合にも、臨機応変に見直しを行い、現状に即した計画で支援している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々、ケアの実践、チェックを行い、評価し計画の見直しを行い努力している。	日々、ケアの実践、チェックを行い、評価し計画の見直しを行い努力している。	日々、ケアの実践、チェックを行い、評価し計画の見直しを行い努力している。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	他科受診については、必要時は看護スタッフが付き添い、様々なニーズに対応できるよう、各専門職との連携を図り努力している。	他科受診については、必要時は看護スタッフが付き添い、様々なニーズに対応できるよう、各専門職との連携を図り努力している。	他科受診については、必要時は看護スタッフが付き添い、様々なニーズに対応できるよう、各専門職との連携を図り努力している。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	傾聴ボランティア、地元消防団の協力を得ながら支援している。	傾聴ボランティア、地元消防団の協力を得ながら支援している。	傾聴ボランティア、地元消防団の協力を得ながら支援している。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	主治医は、本人、家族に決定してもらい他科の主治医も受け入れられている。緊急時の対応もかかりつけ医との連携をもち支援している。	主治医は、本人、家族に決定してもらい他科の主治医も受け入れられている。緊急時の対応もかかりつけ医との連携をもち支援している。	主治医は、本人、家族に決定してもらい他科の主治医も受け入れられている。緊急時の対応もかかりつけ医との連携をもち支援している。	本人や家族の希望される医療機関の受診を支援しており、主治医の変更も家族の希望でなされている。職員は利用者の主治医と連携し適切な診療が受けられるように支援している。併設医療機関や協力歯科医の訪問診療もなされている。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	日々情報の共有化、健康管理、医療連携を図っている。	日々情報の共有化、健康管理、医療連携を図っている。	日々情報の共有化、健康管理、医療連携を図っている。		

自己	外部	項目	自己評価(ユニット名/A)	自己評価(ユニット名/B)	自己評価(ユニット名/C)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	併設施設の相談員との連携を行っている。	併設施設の相談員との連携を行っている。	併設施設の相談員との連携を行っている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居契約時、必要に応じて説明を行っている。状態に合わせて、主治医と家族との話し合いがもたれ、医療と介護の方針の共有化をしようとしている。	入居契約時、必要に応じて説明を行っている。状態に合わせて、主治医と家族との話し合いがもたれ、医療と介護の方針の共有化をしようとしている。	入居契約時、必要に応じて説明を行っている。状態に合わせて、主治医と家族との話し合いがもたれ、医療と介護の方針の共有化をしようとしている。	管理者は重度化や看取りに関する指針を契約時に説明している。重度化された場合には主治医と共に、段階に応じて説明や家族の意思の確認を行い、家族の意思にも添って支援している。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	主治医、看護師の連携をもとに行っている。	主治医、看護師の連携をもとに行っている。	主治医、看護師の連携をもとに行っている。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	月1回の訓練を併設施設共同で行い、年2回の法定防災訓練を実施している。	月1回の訓練を併設施設共同で行い、年3回の法定防災訓練を実施している。	月1回の訓練を併設施設共同で行い、年4回の法定防災訓練を実施している。	隣接する併設施設と合同で年に12回(毎月実施)、火災を想定(主に夜間)した災害対策訓練を実施している。内、10回は手順や器具のチェックを主に行い、残り2回は消防署の協力も得ながら通報・避難誘導等の訓練を実施している。地域消防団や民生委員の協力を得る体制もある。	
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>							
36	(14)	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損なわない言葉かけや対応をしている	プライバシーを損なわない対応や声かけを徹底するようにしている。	プライバシーを損なわない対応や声かけを徹底するようにしている。	プライバシーを損なわない対応や声かけを徹底するようにしている。	法人内で接遇研修も実施されており、利用者の人格とプライバシーに配慮した言葉かけや対応に努めている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	本人の思いや希望が表せるように働きかけ表情や行動、言葉の観察を行い、自分で決意できる支援をしている。	本人の思いや希望が表せるように働きかけ表情や行動、言葉の観察を行い、自分で決意できる支援をしている。	本人の思いや希望が表せるように働きかけ表情や行動、言葉の観察を行い、自分で決意できる支援をしている。		

自己	外部	項目	外部評価 (評価機関記入欄)				
			自己評価(ユニット名/A)	自己評価(ユニット名/B)	自己評価(ユニット名/C)	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人一人のペースに合わせた動きをスタッフができるように日々努めている。	一人一人のペースに合わせた動きをスタッフができるように日々努めている。	一人一人のペースに合わせた動きをスタッフができるように日々努めている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	その人らしさが損なわれないように、身だしなみ、おしゃれは続けて出来る様に支援している。理美容、爪の手入れ、ネイルケアなどを提供している。	その人らしさが損なわれないように、身だしなみ、おしゃれは続けて出来る様に支援している。理美容、爪の手入れ、ネイルケアなどを提供している。	その人らしさが損なわれないように、身だしなみ、おしゃれは続けて出来る様に支援している。理美容、爪の手入れ、ネイルケアなどを提供している。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	配膳や後片付け等、それぞれが役割を持ってスタッフと利用者が一緒に行っている。食事と一緒に楽しみながら摂るようにしている。	配膳や後片付け等、それぞれが役割を持ってスタッフと利用者が一緒に行っている。食事と一緒に楽しみながら摂るようにしている。	配膳や後片付け等、それぞれが役割を持ってスタッフと利用者が一緒に行っている。食事と一緒に楽しみながら摂るようにしている。	利用者の力を活かしながら、盛り付けや配膳、後片付け等を一緒に行っている。食事の時には職員も一緒に食べて、楽しい食事になるように配慮している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	併設施設の管理栄養士に定期的に指導を受けながら、作成された献立を使用し、カロリー、摂取量、水分量を把握するように努めている。状態変化時にも食事形態やカロリー変更も速やかに行っている。	併設施設の管理栄養士に定期的に指導を受けながら、作成された献立を使用し、カロリー、摂取量、水分量を把握するように努めている。状態変化時にも食事形態やカロリー変更も速やかに行っている。	併設施設の管理栄養士に定期的に指導を受けながら、作成された献立を使用し、カロリー、摂取量、水分量を把握するように努めている。状態変化時にも食事形態やカロリー変更も速やかに行っている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、口腔ケア(介入)を行っている。また訪問歯科診療にて定期的な診察や歯科衛生士による専門的な口腔ケアも行っている。	毎食後、口腔ケア(介入)を行っている。また訪問歯科診療にて定期的な診察や歯科衛生士による専門的な口腔ケアも行っている。	毎食後、口腔ケア(介入)を行っている。また訪問歯科診療にて定期的な診察や歯科衛生士による専門的な口腔ケアも行っている。		
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄パターンに把握し、一人一人の状況に合わせて支援している。	排泄パターンに把握し、一人一人の状況に合わせて支援している。	排泄パターンに把握し、一人一人の状況に合わせて支援している。	起立可能な利用者は、排泄パターンに合わせて前誘導を行い、トイレでの排泄を支援している。居室にはトイレが設置されている。	



自己	外部	項目	自己評価(ユニット名/A)	自己評価(ユニット名/B)	自己評価(ユニット名/C)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食事の摂取量、水分量、内服薬を把握し、原因を理解するようにしている。定期受診の際、相談し便秘時の指示を受けている。	食事の摂取量、水分量、内服薬を把握し、原因を理解するようにしている。定期受診の際、相談し便秘時の指示を受けている。	食事の摂取量、水分量、内服薬を把握し、原因を理解するようにしている。定期受診の際、相談し便秘時の指示を受けている。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている	男女の言い分もあり、一人一人のタイミングに合わせて行うようにしている。ゆっくりとした時間をとるようにしている。	男女の言い分もあり、一人一人のタイミングに合わせて行うようにしている。ゆっくりとした時間をとるようにしている。	男女の言い分もあり、一人一人のタイミングに合わせて行うようにしている。ゆっくりとした時間をとるようにしている。	基本的には、週に2~3回の入浴であるが、希望があれば連日も可能である。入浴を嫌がられる場合には、時間をずらしたり、言葉かけを工夫する等し対応している。利用者の状態によっては清拭を行ったり、併設施設の特殊入浴を利用している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	昼間の活動、外気浴を実施したり、昼夜のリズムを整え、安眠出来るように一人一人の状態に合わせて対応している。	昼間の活動、外気浴を実施したり、昼夜のリズムを整え、安眠出来るように一人一人の状態に合わせて対応している。	昼間の活動、外気浴を実施したり、昼夜のリズムを整え、安眠出来るように一人一人の状態に合わせて対応している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	内服マニュアルを実施し、内服を支援している。内服薬変更時は、状態観察を行い、医師・看護師への報告や相談、指示をもらうよう連携している。	内服マニュアルを実施し、内服を支援している。内服薬変更時は、状態観察を行い、医師・看護師への報告や相談、指示をもらうよう連携している。	内服マニュアルを実施し、内服を支援している。内服薬変更時は、状態観察を行い、医師・看護師への報告や相談、指示をもらうよう連携している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	プラン作成時、生活の中での役割、楽しみを聞き取り、毎日の生活に喜びを感じられるように支援している。	プラン作成時、生活の中での役割、楽しみを聞き取り、毎日の生活に喜びを感じられるように支援している。	プラン作成時、生活の中での役割、楽しみを聞き取り、毎日の生活に喜びを感じられるように支援している。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	本人と家族に外出支援や本人の希望を受け入れ外出支援をしている。季節毎に景色や行事を楽しみに定期的に外出もしている。	本人と家族に外出支援や本人の希望を受け入れ外出支援をしている。季節毎に景色や行事を楽しみに定期的に外出もしている。	本人と家族に外出支援や本人の希望を受け入れ外出支援をしている。季節毎に景色や行事を楽しみに定期的に外出もしている。	散歩や週2回のドライブを行っている。個別の外出は、家族の協力を得ながら支援している。	

自己	外部	項目	自己評価(ユニット名/A)			外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	本人の金銭管理を見守り、本人が「出来た」という感覚を大事にしている。	本人の金銭管理を見守り、本人が「出来た」という感覚を大事にしている。	本人の金銭管理を見守り、本人が「出来た」という感覚を大事にしている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	必要な電話は、自らかけていただき安心してもらう、手紙も自由に書いてもらい、ポストに自ら投函してもらう。屋内にもポストを設置している。自室に電話をもっている方もいる。	必要な電話は、自らかけていただき安心してもらう、手紙も自由に書いてもらい、ポストに自ら投函してもらう。屋内にもポストを設置している。自室に電話をもっている方もいる。	必要な電話は、自らかけていただき安心してもらう、手紙も自由に書いてもらい、ポストに自ら投函してもらう。屋内にもポストを設置している。自室に電話をもっている方もいる。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	居心地良く過ごせるように明かり、温度など配慮し、また匂いや汚れがないように心がけている。不快な音に不安を抱かせないよう努めている。1年中花は欠かせず日常生活に潤いを持たせている。	居心地良く過ごせるように明かり、温度など配慮し、また匂いや汚れがないように心がけている。不快な音に不安を抱かせないよう努めている。1年中花は欠かせず日常生活に潤いを持たせている。	居心地良く過ごせるように明かり、温度など配慮し、また匂いや汚れがないように心がけている。不快な音に不安を抱かせないよう努めている。1年中花は欠かせず日常生活に潤いを持たせている。	事業所内は明るく気温や匂い、光等に配慮しており、廊下の天窓にはシェードを設置し、光の刺激を解消している。また、天窓は開閉式で換気口にもなっている。玄関や事業所内には季節の花等が飾られ気分を和ませているが、廊下の洗面台や洗濯場等には汚れやごみが目につく部分がある。	事業所の特性からも衛生面への配慮が不可欠である。更なる環境整備への取り組みを期待したい。
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	広い空間にはソファなどを置き、気の合う仲間と楽しくすごしてもらい、一人になってもお気に入りのものやなじみの物で安心して過ごしてもらえるよう工夫している。	広い空間にはソファなどを置き、気の合う仲間と楽しくすごしてもらい、一人になってもお気に入りのものやなじみの物で安心してすごしてもらえるよう工夫している。	広い空間にはソファなどを置き、気の合う仲間と楽しくすごしてもらい、一人になってもお気に入りのものやなじみの物で安心してすごしてもらえるよう工夫している。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	本人の使い慣れたもの等を持参していただく。	本人の使い慣れたもの等を持参していただく。	本人の使い慣れたもの等を持参していただく。	職員は家族に利用者の馴染みの品の持ち込みを勧め、居心地の良い居室作りを支援している。家族の写真やお位牌、調度品、人形、置き時計、カレンダー等が見受けられる。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	出来ることはしてもらい、自分の能力を生かしてもらう。出来ないことは最小限の支援をし、出来るだけ自立した生活を送れるよう工夫している。	出来ることはしてもらい、自分の能力を生かしてもらう。出来ないことは最小限の支援をし、出来るだけ自立した生活を送れるよう工夫している。	出来ることはしてもらい、自分の能力を生かしてもらう。出来ないことは最小限の支援をし、出来るだけ自立した生活を送れるよう工夫している。		

**V. サービスの成果に関する項目(目標指標項目)アウトカム項目))(事業所記入)**  
**※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します**

項 目		取 り 組 み の 成 果			↓ 該当するものに○印をつけてください
		ユニットA	ユニットB	ユニットC	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。  (参考項目:23,24,25)	○	○	○	1. ほぼ全ての利用者の
					2. 利用者の2/3くらいの
					3. 利用者の1/3くらいの
					4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。  (参考項目:18,38)	○	○	○	1. 毎日ある
					2. 数日に1回程度ある
					3. たまにある
					4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。  (参考項目:38)	○	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
					2. 利用者の2/3くらいが
					3. 利用者の1/3くらいが
					4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。  (参考項目:36,37)	○	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
					2. 利用者の2/3くらいが
					3. 利用者の1/3くらいが
					4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。  (参考項目:49)	○	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
					2. 利用者の2/3くらいが
					3. 利用者の1/3くらいが
					4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。  (参考項目:30,31)	○	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
					2. 利用者の2/3くらいが
					3. 利用者の1/3くらいが
					4. ほとんどいない

項目		取り組みの成果			↓該当するものに○印をつけてください
		ユニットA	ユニットB	ユニットC	
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目:28)	○	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
					2. 利用者の2/3くらいが
					3. 利用者の1/3くらいが
					4. ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目:9,10,19)	○	○	○	1. ほぼ全ての家族と
					2. 家族の2/3くらいと
					3. 家族の1/3くらいと
					4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目:2,20)	○	○	○	1. ほぼ毎日のように
					2. 数日に1回程度ある
					3. たまに
					4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目:4)	○	○	○	1. 大いに増えている
					2. 少しずつ増えている
					3. あまり増えていない
					4. 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目:11,12)	○	○	○	1. ほぼ全ての職員が
					2. 職員の2/3くらいが
					3. 職員の1/3くらいが
					4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
					2. 利用者の2/3くらいが
					3. 利用者の1/3くらいが
					4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	○	○	1. ほぼ全ての家族等が
					2. 家族等の2/3くらいが
					3. 家族等の1/3くらいが
					4. ほとんどいない